



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月6日

上場会社名 株式会社ナカヨ

上場取引所 東

コード番号 6715 URL <http://www.nyc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷本 佳己

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理統括本部長 (氏名) 加藤 英明

TEL 027-253-1006

四半期報告書提出予定日 2020年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	12,818	1.3	219	26.8	305	20.1	173	29.4
2019年3月期第3四半期	12,650	4.1	299	30.3	381	20.8	246	22.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 167百万円 (4.9%) 2019年3月期第3四半期 159百万円 (83.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	39.35	
2019年3月期第3四半期	55.86	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	23,007	18,119	78.8
2019年3月期	23,321	18,220	78.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 18,119百万円 2019年3月期 18,220百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		65.00	65.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2019年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 60円00銭 創立75周年記念配当 5円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,200	6.3	850	15.1	940	12.3	630	3.5	142.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	4,794,963 株	2019年3月期	4,794,963 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	369,245 株	2019年3月期	380,596 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	4,421,225 株	2019年3月期3Q	4,411,313 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、緩やかに回復しておりますが、消費税率引上げの影響や、米中貿易摩擦の激化、英国のEU離脱などにより依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの関連するICT市場は、第5世代移動通信システム(5G)の開始に向け関連設備などの増加が期待でき、需要の拡大が見込まれております。しかしながら、当社の主力商品であるビジネスホン関連の設備投資は、リプレイス需要が中心であるため、減少傾向となっております。

このような状況下で、当社グループは2018年4月からスタートした「第四次中期経営計画」において『お客様のビジネスの発展をサポートする会社』を目指し、重点課題である「事業規模の拡大」と「経営体質の強化」に取り組んでおります。

「事業規模の拡大」に向けては、既存商品群の機能強化に加えて、サービスやアプリケーションなどの新商品開発、様々なマーケットを視野に入れた新規顧客の開拓、インターホン事業への参入やIoT活用などによる新事業の開拓を推進しております。その中でも、主力商品のNYC-Siシリーズは、電話受付業務の見える化や社内連絡の簡易化でご好評いただいている「CTIアシスト」の機能アップや、介護施設で働くスタッフのスムーズなコミュニケーションを実現したインカム連携の追加など、業務の合理化を進めるお客様の要望にお応えすることで、厳しい市場環境の中でも売上が好調に推移いたしました。事業規模の拡大を支える「経営体質の強化」においては、生産性向上、創造性強化、社員パフォーマンスの向上に取り組んでおり、製造革新活動における時間低減目標の達成や、RPAツールによる業務効率改善など、特に生産性の向上に注力してまいりました。

また、SDGsやESGへの取り組みについても重要な経営課題として認識しております。例えば、地球環境問題への対応としては、環境適合製品の拡大、電力使用量の削減、ゼロエミッションの推進、産業廃棄物の総排出量削減などに取り組む、「環境報告書2019」にまとめ12月に公開いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績については、売上高12,818百万円(前年同期比1.3%増)になりました。利益面については、売上は増加したものの、Windows10への切り替え費用および開発費の増加等により、営業利益219百万円(前年同期比26.8%減)、経常利益305百万円(前年同期比20.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益173百万円(前年同期比29.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は前連結会計年度末に比べ314百万円減少し、23,007百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ343百万円減少し、14,562百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加264百万円があったものの、受取手形及び売掛金の減少629百万円があったこと等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ29百万円増加し、8,444百万円となりました。これは主に、投資その他の資産の「その他」に含まれる預り保証金引当資産の減少73百万円があったものの、投資その他の資産の「その他」に含まれる退職給付に係る資産の増加79百万円、投資その他の資産の「その他」に含まれる敷金の増加39百万円があったこと等によるものであります。

(負債)

負債は前連結会計年度末に比べ212百万円減少し、4,887百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ259百万円減少し、3,755百万円となりました。これは主に、流動負債の「その他」に含まれる未払金の増加97百万円、流動負債の「その他」に含まれる預り金の増加75百万円があったものの、電子記録債務の減少224百万円、賞与引当金の減少185百万円があったこと等によるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ46百万円増加し、1,132百万円となりました。これは主に、固定負債の「その他」に含まれる繰延税金負債の増加53百万円があったこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ101百万円減少し、18,119百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少112百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上高及び利益については、2019年5月27日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,802	6,066
受取手形及び売掛金	6,275	5,645
商品及び製品	887	955
仕掛品	441	615
原材料及び貯蔵品	1,351	1,092
その他	157	195
貸倒引当金	△9	△8
流動資産合計	14,906	14,562
固定資産		
有形固定資産	2,807	2,804
無形固定資産	738	734
投資その他の資産		
投資有価証券	2,829	2,825
その他	2,045	2,084
貸倒引当金	△7	△5
投資その他の資産合計	4,868	4,905
固定資産合計	8,415	8,444
資産合計	23,321	23,007
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,309	1,256
電子記録債務	1,616	1,392
未払法人税等	96	24
製品保証引当金	172	136
賞与引当金	272	86
その他	547	859
流動負債合計	4,014	3,755
固定負債		
その他	1,086	1,132
固定負債合計	1,086	1,132
負債合計	5,100	4,887

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,909	4,909
資本剰余金	4,528	4,535
利益剰余金	7,776	7,663
自己株式	△402	△390
株主資本合計	16,811	16,716
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,299	1,298
退職給付に係る調整累計額	109	104
その他の包括利益累計額合計	1,408	1,402
純資産合計	18,220	18,119
負債純資産合計	23,321	23,007

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	12,650	12,818
売上原価	9,860	10,277
売上総利益	2,790	2,541
販売費及び一般管理費	2,491	2,322
営業利益	299	219
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	70	71
その他	29	36
営業外収益合計	99	107
営業外費用		
支払手数料	1	15
固定資産廃棄損	3	0
為替差損	5	3
投資事業組合運用損	4	2
その他	1	0
営業外費用合計	16	21
経常利益	381	305
税金等調整前四半期純利益	381	305
法人税、住民税及び事業税	71	74
法人税等調整額	64	56
法人税等合計	135	131
四半期純利益	246	173
親会社株主に帰属する四半期純利益	246	173

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	246	173
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△113	△1
退職給付に係る調整額	26	△5
その他の包括利益合計	△86	△6
四半期包括利益	159	167
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	159	167

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

当社グループは通信機器事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。